
m o r e . . .

kaeri

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

more...

【Nコード】

N6675L

【作者名】

kaeri

【あらすじ】

摂食障害の第二作です。今回は過食の女の子の物語です。

「まい、もう食べないの？」

「うん。」

「相変わらず少食だよね。」

友達のゆかがハンバーグの肉片を口に運びながらいった。

「そんなことないよ。ちよつと今日は胃の調子があんまよくなく
つてさ・・・」

「えゝつてか大丈夫？」

「あゝだいじょぶだいじょぶ。薬飲んだから。」

そういいながらゆかの頼んだメニューをちらりとみる。ゆかは和風
ハンバーグプレート、鉄板からは肉の焼ける音と大根おろしソース
の香ばしい香りが漂っている。

「私ばつかばく食べちゃってちよつとはずかしいなあゝつて
かこんな食べるからふとんだよねゝあはは」

「ゆかはぜんぜん太ってないよ。サラダももったいないから食べ
ていいよ」

「まじ？さんきゅゝ」

私は半分以上残ったサラダをゆかに渡した。

そのとき、後悔の念にかられた。私はここ最近起きるある衝動に
本気で悩んでいた。

それは、夜突然発作的に起きるのだ。

今日もその衝動がおきそうで恐い。だから、ゆかという長年の親
友と一緒にいても私は何を話したかあまり覚えていなかった。

ゆかとの夕食を終えて帰り道、コンビニによるのが私の日課だ。
一人暮らしだから家に帰っても誰もいない。だからかもしれない。
私はついどこかにたちよる癖がついてしまった。

かごを持ち、パンを2、3個いれる。弁当、おにぎり、アイス、プ

リン・・・5分くらいでかごはいっぱいになった。かごに入れていく瞬間はたまらなく快感だ。

重い荷物をかかえやと家についた。時刻は9時をまわっていた。1ルームの狭い部屋に入りテレビをつけテーブルにさっき買った食べ物たちをならべる。

まずは弁当を食べた。いたってシンプルな海苔弁当。まだお腹がいっぱいにならない。次にパンを食べた。そして、おにぎりプリン。どんどん詰め込んでいく。私の中にもう味覚はない。食べ物の味も今の私にはわからないのだ。お腹がパンパンでもう苦しい。でも自分では止められない。

どうしてこんなことになってしまったのだろう。

食べ物を口に入れながら何かがこみあげてくるかんじを覚えた。

あわててトイレに駆け込む。

「おええええ」

胃が耐え切れず悲鳴をあげたのだ。

一通り出し切ると、冷蔵庫をあける。きゅうりがあった。そのままかじり、マヨネーズをすすする。

こんな姿誰にも見せたくない。

こんな汚い醜い姿は。

私は異常なのだろうか？自分に問いかける。でも答えはみつからなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6675/>

more . . .

2010年10月10日08時54分発行